

ベナン月報(2015年6月)

主な出来事

【内政】

- 18日, 内閣改造が行われた。首相のポストが復活し, フランス系ベナン人実業家ザンス氏が就任した。また, 新任の大臣18名が入閣した。
- 28日, ベナン各地で地方選挙が実施された。

【外政】

- 9日, ヤイ大統領はエリゼ宮でオランド仏大統領と会談し, 7月2日に予定されているオランド大統領のベナン公式訪問を控え, 様々な問題について議論を行った。
- 25日, JICA/JOCV10周年記念式典が催され, 塚原大使, アカディリ外務大臣, ドストベ保健大臣などが出席した。

【経済】

- 15日, 国家デジタル放送移行委員会(CNMAN)は会見を開き, 17日に予定されていた地上デジタル放送の導入を2016年の6月に延期することを発表した。
- 24日, ナイジェリアの石油企業 SAPETRRO は, ベナン沖で行われていた油田の調査掘削の中止を発表した。
- 26日, 通信会社 MTN ベナンはベナンにおける LTE(4G)接続サービスを開始した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および L'Autre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 2日, 初等教育卒業資格試験が全国で開始された。(3日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 2日, 警察官労働組合は政府に対し, 4月26日の国民議会選挙における警備業務に対する手当として3億5000万 FCFA の支払を要求した。(3日, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙)
- ・ 4日, ウンベジ(M.Adrien HOUNGBEDJI)国民議会議長は, 政府に対し, 2016年度国家予算編成指針を30日までに国民議会に提出するよう要請した。(5日, La Nation 紙)
- ・ 6日, アボメイ・カラビ大学で, 人文学部の進級試験システムの変更(2次試験の廃止)に反対する学生団体がデモを行った。警察が鎮圧し, 複数の負傷者及び逮捕者が出た。(7日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙, L'Autre 紙)
- ・ 8日, エミル・デルラン・ザンス(M.Emile Derlin ZINSOU)元ダホメ大統領(96歳)が国立大学病院センター(CNHU)に緊急搬送された(9日, Le Matinal 紙)
- ・ 8日, ブコ・ナニミ (M. Awal Djibri BOUKO NAGNIMI)ベナン統合参謀総長は, 2名ベナン共和国軍士官から軍曹の階級を剥奪することを発表した。この2名は, 下士官候補者訓練試験を受験する際, 学位や出生届などを偽造したことが判明した。また, 同様の疑惑がある士官

が他に91名存在する可能性がある。(9日, Le Matinal 紙)

- ・ 11日, アビオラ(M.François Adebayo ABIOLA) 高等教育・科学研究担当国務大臣は, アボメイ・カラビ大学関係者及び3学生団体それぞれの代表と会合を開き, 学生団体が求めてきた人文学部における進級試験2次試験(追試)の実施及びそれに伴う費用の拠出を約束した。(12日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 12日, 第7次国民議会の常設委員会の役員が選出された。(15日, La Nation 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 15日, ウンベジ国民議会議長の就任式がポルト・ノヴォで行われた。(16日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 17日, 2015年バカロレア試験が全国で開始された。(18日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 18日, 内閣改造が行われた。首相のポストが復活し, フランス系ベナン人実業家ザンス氏(M.Lionel Zinsou)が就任した。また, 新任の大臣18名が入閣した。(19日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 18日, 地方選挙キャンペーンが各地で開始された。(22日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 国家会計検査院(IGE)の解散が閣議で決定された。会計検査機能は新たに設置される機関が担うことになる。(22日, La Nation 紙)
- ・ 28日, ベナン各地で地方選挙が実施された。(29日, La Nation 紙, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙, L'Autre 紙)

【治安】

- ・ 3-4日, コトヌ市で大雨により, 床上浸水など多くの洪水被害が発生した。(5日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, La Nouvelle Tribune 紙, L'Autre 紙)
- ・ 3日, コメ市ドレ地区で女性が頭部を切断される殺人事件が発生。犯人は民衆制裁により死亡したが, 民衆制裁を制止するために派遣された警官隊に対して, 民衆が反発, 大規模なデモが発生した。(5日, La Nation 紙)
- ・ 13日, 中央行政車両整備局(DGCA)は, コトヌ市及びアボメイ・カラビ市で検問を行い, 109台の車両を検査, 16台の整備基準を満たしていない車両を摘発した。(15日, La Nation 紙)
- ・ 15日, ロコサ市で4名のバイク強盗が逮捕された。彼らは武装し, コトヌ市で強奪したバイクをロコサ市で売りさばき, ロコサ市で強奪したバイクをコトヌ市で売りさばいていた。(16日, La Nation 紙)
- ・ 15日, ジュグ市で4名の武装強盗が逮捕された。(16日, La Nation 紙)
- ・ 24日, カンディ市でFCBE支持者とAlliance SOLEIL支持者の抗争が発生, 男性1人が重傷を負った。(25日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, ジュグ市ブグ地区で3名の武装強盗(ベナン人1名とブルキナ人2名)が民衆制裁によって殺害された。(29日, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 4日, オランダ政府開発援助資金不正使用に関する調査委員会が活動を開始した。この調査委員会はドニヨン(M.Michel DOGNON)大統領特別顧問及び国外の監査員で構成され, 7月17日までにレポートを作成する。(5日, La Nation 紙)
- ・ 9日, ヤイ大統領はエリゼ宮でオランド仏大統領と会談し, 7月2日に予定されているオランド大統領のベナン公式訪問を控え, 様々な問題について議論を行った。会談の中でヤイ大統領は, 今後大統領選に出馬する意思がないことを表明した。(10日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙, L' Autre 紙)
- ・ 15日, ソロ(M.Guillaume SORO)コートジボワール国民議会議長がウンベジ国民議会議長の就任式出席のため, ベナンを訪問した。(17日, La Nation 紙, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 25日, JICA/JOCV10周年記念式典が催され, 塚原大使, アカディリ(M.Salihou AKADIRI)外務大臣, ドス・トベ(M.Pascal DOSSOU TOGBE)保健大臣などが出席した。(29日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ 1日, ヤイ大統領はインド企業 ETG 関係者を大統領府に迎え, 現在ベナンで建設中の肥料生産工場に関する報告を受けた。ETG 関係者によると, 工場の建物はすでに完成しており, 機材も5ヶ月以内に設置, 半年後には稼働する予定である。同工場は稼働時1500トンの生産量を予定している。(2日, La Nation 紙)
- ・ 2日, コトヌ・パラク間鉄道再建計画の第一歩となるパウ市ーコトヌ市ーポルト・ノヴォ市を結ぶ最初の50Kmの線路の修復工事が開始された。(3日, La Nation 紙, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 15日, ベナン政府は, 綿花生産者に対する2014ー2015年度の未払い金約2800万 FCFA の速やかな支払いを約束した。(16日, La Nation 紙, L' Autre 紙)
- ・ 15日, 国家デジタル放送移行委員会(CNMAN)は会見を開き, 17日に予定されていた地上デジタル放送の導入を2016年の6月に延期することを発表した。(16日, L' Autre 紙)
- ・ 17日, ミレニアム・チャレンジ・アカウント(MCA)第2コンパクトがワシントンにおいて承認された。援助総額は4億1100万米ドルに上る。(18日, La Nation 紙, L' Autre 紙)
- ・ 18日, 中国企業 Shinohydro Africa 社関係者が大統領府を訪れ, アジャラ地域における水力発電用ダムの建設計画に関してヤイ大統領と意見交換を行った。(19日, La Nation 紙)
- ・ 19日, ヤイ大統領は独立負債償却事務所(CAA)を訪問し, ベナン国債の現状を確認した。CAAによると, ベナンは約16億3200万 FCFA の負債があり, 内5億570万 FCFA は国内負債, 10億650万 FCFA は国外負債である。(20日, La Nation 紙)
- ・ 22日, ベナン政府は2016年の経済成長率見通しを5.8%と発表した。(25日, La Nation 紙, L' Evénement Précis 紙)

- ・ 24日、ナイジェリアの石油企業 SAPETRRO は、ベナン沖で行われていた油田の調査掘削からの撤退を発表した。同社は3つの油田の調査掘削を行っていたが、1つめの油田では技術的な問題が発生し、2つめでは石油はなく水脈のみであった。3つめの油田では150万バレルの石油が発見されたが、この埋蔵量では採算が見込めないため(ナイジェリアでは日産200万バレル)、同社は調査掘削を中止した。(25日、La Nation 紙, L' Autre 紙)
- ・ 25日、世銀はベナンにおける洪水対策に対する200億 FCFA の支援を決定した。(25日、La Nation 紙)
- ・ 26日、通信会社 MTN ベナンはベナンにおける LTE(4G)接続サービスを開始した。(29日、La Nation 紙, Le Matinal 紙)

(了)